

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.12 平成26年9月11日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
mail info@soya-teachers.org web : http://www.soya-teachers.org



怪獣「ムラバラン」を
やっつけろ！

これで授業づくりや集団づくりを評価できるのか!? 査定昇給制度の給与決定手続き(案)が明らかに

昇給の給与決定手続き(案)

対象者

学校職員である者

- ◆再任用職員・最高号俸を受ける職員を除く
- ◆非常勤講師・臨時職員は対象にならない
- * 期限付教諭は査定対象だが、上位区分の適用はなし。

要素別評定

評定要素	細区分	定義	初任層以外		
			初任層	初任層	
業績	80	仕事の成果	担当の職務を質・量的側面において達成することができた度合	○	○
		業務の進行管理	業務の進行、処理状況を管理し、途中でチェックを行い、問題の早期発見、解決に努めた度合	○	-
		創意工夫・業務改善	業務効率向上の意識を持ち、業務の簡素化、効率化に向けアイデアを出すなど業務改善により効率的に仕事を行った度合	○	-
		迅速性・正確性	・仕事の処理において、スピード感を持って効率よく成し遂げた度合 ・仕事の結果に誤りなく正確に行った度合	○	-
意欲・姿勢	60	積極性・チャレンジ性	・仕事の遂行に対する熱意と意欲的な態度の度合 ・失敗を恐れず新しい仕事に挑戦しようとした度合	○	○
		責任感	・自分の職責を認識し、積極的かつ誠実に業務を遂行した度合 〔事務職員〕コスト意識を持った仕事への取組みの度合	○	○
		協調性	自己の主体性を保持しながら、他の職員や関係機関との意思疎通や協力により、業務を円満に遂行する姿勢	○	○
		規律性	児童生徒、保護者、地域住民の立場に立ち、教育公務員として、また、公務員としての自覚のもと、定められた規律性を順守し、秩序維持に努める姿勢	○	○
能力	60	企画力	問題の所在を的確に把握し、効果的かつ実現性ある企画や立案ができる能力	○	○
		理解力・判断力	学校の教育目標や職務内容を熟知し、状況に応じた適切な判断により結果に反映させる能力	○	○
		知識・技能	職務の遂行に必要な知識・技能を有し、かつ活用する能力	○	○
		情報収集・活用能力	職務に必要な情報の収集を行い、分析、活用する能力	○	○

細区分ごとに「a」「b」「c」の評定を各区分ごとに点数化される。

この「手引き」から、査定昇給制度によって、月例給(号俸)が査定され決定する流れをまとめました。
私たちが日常的に子どもたちとともに過ごす学校生活、その中

にある授業づくりや集団づくりの営み、子どもたちのトラブルの解決や保護者・地域とのつながりを大切にした取り組みなどが、こうした「評定」によって評価されようとしています。

そもそも査定昇給の凍結解除を表明した今年一月の賃金確定交渉では「先生方の士気向上」がねらいのひとつでもありました。先生方がみんなで力合わせをしてがんばっている現状の中、こう

北海道教育委員会は、道教組・道教組に対して、『昇給及び勤勉手当の給与決定手続きに関する手引き』(案)を提示しました。そもそも学校現場になじまない査定昇給制度の、具体的なルールについて検討が始まりました。今後、少しでも教育的な視点が含まれるルールとなるよう、道教組・言教組が交渉を進めます。

公務貢献による加点

- ・へき地3級以上の学校に3年以上(離島は2年以上)勤務している場合
- ・「広域人事」による異動があった場合
- ・過去7年以内に住居の移転を必要とする異動が3回以上あった場合
などが200点満点の中に加点(各5点ずつ)がされる。

総合評定

評語	基準	55歳未満	55歳以上	配分
極めて良好(A)	特に高く評価できる成果を挙げ、かつ評定要素の細区分毎の評定に「a」が1項目以上又は「b」が2項目以上 など ⇒ 当分の間は適用されない			
特に良好(B)	高く評価できる成果を挙げ、かつ評定要素の細区分毎の評定に「b」が1項目以上 など	6号俸	1号俸	30%
良好(C)	B・D・E評価に該当しない場合	4号俸	零	
やや良好でない(D)	懲戒処分を受けた場合(戒告、減給3月以下に限る) 4分の1以上勤務していない場合など	2号俸	零	左記の条件に当てはまる場合
良好でない(E)	停職、減給(Dに該当する場合を除く)を受けた場合 2分の1以上勤務していない場合 など	零	零	

◆初任層(8年未満)と初任層以外を分けず、統合して対象者総数の30%程度の範囲内で教育局管内ごとに職位(校長、教頭、それ以外の職員)別に決定・配分する。

した評価は教育的な営みと噛み合うものではなく、士気向上にはつながらないのではないのでしょうか。
制度設計の細部については、道教組・高教組が引き続き折衝を行います。疑問や意見、質問などは宗谷教組本部にお寄せください。



みんなで考える 民主的學校づくり

9月6日に学習交流集会を開催！

昨年、しばらくぶりに作成して好評だった「私の職場を紹介しませう」。水色の表紙の本があったのを覚えていますか？ 今年はやつとりリニューアルして「みんなで考える民主的學校づくり」という冊子を作成しました。

さつそく、6日に開催した「民主的學校づくり学習交流集会」に参加されたみなさんと読み合い、学び合いました。今回の宗谷情報では、紙面の内容をちよこつと。そして参加されたみなさんの感想をご紹介します。

授業づくり

二五年度の学力・学習状況調査の考察に探究的、協力・協同の学びの有意義さについてふれている部分があります。管内にはこうした意図を持つて教育課程を位置付けている教育実践がたくさんあります。一方で、

学力・学習状況調査には、機械的な理解を促す（やり方を覚えさせる）授業になりがち傾向もあります。道内では、格差と競争を広げ、その結果として子ども同士の関係を分断している例もあるようです。

子どもの声を…

北海道内の実態として、保護者が生活に追われていることから、家庭で育ち切れていない子どもたちが多くなってきたようです。様々な背景を背負って子どもたちは学校に通います。そして、人と人との関わり方を学びます。

毎日いろいろな事が起こる中で、子どもたちが起こす「行為」だけに目を向けがちではないか…ということ、北海道子どもセンターの谷光さんは、「どうしてそんなことをしたのか？ その行為の裏に子どものどんな思いがあるのか？」と声にならない

い声を聞きとることが大切なのではないかと指摘しています。

学び合おう！

こうした実態だからこそ、私たち教職員は学び合うことで考えが豊かになったり、新たな教育実践をするための原動力を得たりするものです。坂本光男さんは「先生が元氣の出る話」という著書の中で、先生方のやり取りの例を挙げ、「先生の思想」という考え方を指摘します。

民主的學校づくりについて 豊かな学びが広がる

こうした学校で普段起きてい

る何気ない光景。私たちの日々の忙しさの中で見えにくくなっている背景にスポットを当てて、民主的學校づくりについて考え合いました。参加されたみなさんの感想からは、豊かな学び合いの時間になったことが伝わってきます。

今後、「学校づくりと人事の支部学習会」を行います。その中で、こうした「民主的學校づくり」について、少しずつでも語り合えることが後期の教育実践への糧になるのでは…と思っています。

参加されたみなさんの感想から

◆学校づくりについて、各市町村の様子を話し合いましたが、先生方一人ひとりの協力しようという気持ちが大切で、その気持ちを作っていきるのが組合だなと感じました。自分の想いをざつぱらんに話せる組合の活動の大切さを改めて感じることができました。

◆この集会の主旨や想いが

伝わってくる説明や資料でした。これだけのものを準備するのは大変だったと思います。

◆内容が盛りだくさんで十分に話し合いができていなかったことが残念でした。やはり話し合うこと、共に同じ思いで頑張っている仲間がいることを実感できる場がとても大切なのだと思

めて思いました。

◆学校づくりの話に終始し、人事の話はほとんどしませんでした。それがまた良かったなあと思います。話していく中で「じゃあ〇〇の時、分会で何ができてくる？」などの言葉が自然に出てくる雰囲気がとてもよかったです。やはり、集い、語り、学ばつて大切ですね。いい時間でした。

◆正直、最初はめんどう…

と思つたのですが、やつぱり来てよかったと思ひました。色々な人と顔を合わせ話をすることはとても大切なことだと思ひます。本当は、分会や支部など、又は組合の枠を超えて学校内でこつやつといろいろな話ができるといいですね。

思いを共有できる何でも話せるのが組合の良いところだと思ひるので、組合員が校内で率先して何でも話せる職場づくりをしていきたいら…と思ひました。

9月6日の民主的學校づくり学習交流集会は、まさに「組合っていいな」と感じることができたひとときでした。例年だと「学校づくりと人事」について焦点を当てていますが、今年はずっと深いところ、根底である「民主的學校づくり」を考えることから秋の学習をはじめました。

宗谷の四季

今年の本は「みどりいろ」です。各支部の「学校づくりと人事学習会」の際に配布されることとします。緑の本、そして今回の宗谷情報では、北海道子どもセンター・谷さんの文章を引用させていただきます。北海道子どもセンターは先生方も相談できます。機会があれば、ぜひ！

一人で悩まないで、お電話を！

「学校に行きたがらない」「やめたい」というの… 発達におくれが…？ いじめられる！ 等々

北海道子どもセンター (札幌市東区北9条東1丁目2-22) 携帯電話からは011-793-6606へ

0120-603406

子育て・教育電話相談 月～金 (13:00~17:00)